

チュニジアの紹介



チュニジアはアフリカ大陸の北に位置しています。地中海を挟んだ先にはイタリアがあります。

チュニジアは北アフリカにある国です。チュニジアの国土は日本の3/5ほど、人口は全員合わせて東京都と同じくらいの小さな国です。人口の約98%がアラブ人で、公用語はアラビア語ですが、フランス語も広く話されています。

また、かつてはローマ帝国の属州であったため、チュニジアには保存状態の良いローマの遺跡が多く残っています。

日本でチュニジアを知る人は少ないかもしれませんが、ここではほとんどの人が日本を知っています。アニメやマンガ、車、カメラなどの日本製品はチュニジアでも人気です。

古代ローマの足跡



(写真:世界遺産・古代ローマのドゥッガ遺跡)

チュニジア料理



チュニジアでは小麦料理が主食で、クスクス(写真:デュラム小麦の粒)は国民食として多くの家庭で食べられています。

辛いものが好きと言う人が非常に多く、ハリッサという香辛料が味付けで好まれます。

私の活動

私は、首都チュニスからバスで2時間ほど離れたテブルスーク市の「青少年の家」という場所で活動しています。

チュニジアの学校には行事やクラブ活動がないため、子どもたちは各地にある青少年の家で、スポーツや絵画、音楽、遠足などの活動ができるようになってきました。私はここで、希望する子に毎週日本語と英語を教えています。

チュニジアの学校では、10歳から英語の授業が始まりますが、教科書を覚えるだけで話す練習がありません。また、町には塾や英会話スクールなどがいないため、勉強を教えられる人が居ません。私は町に住むただ一人の外国人として、子どもたちの学ぶ場所を作っています。

私の教室には、「英語を話してヨーロッパではたらかたい」「大人になったら日本に行きたい」といった夢がある子が多くいます。私は、彼らの夢がかなうよう、少しでも力になりたいと思っています。



左：舞台上で元気に盆踊りを披露する青少年 右：日本祭りに参加したテブルスーク青少年の家グループ（後列中央が報告者）

日本祭りで埼玉県の盆踊りを披露

JICA ボランティア チュニジア派遣 50 周年記念行事にて

2025年2月9日に、首都チュニスで JICA ボランティアのチュニジア派遣 50 周年を記念した日本祭りが開催されました。

私は配属先の子もたちと、埼玉県の「さいさい盆踊り」を披露しました。この踊りには、盆踊りや花火など、日本の伝統文化だけでなく、荒川ライン下りや農作物の育成と収穫など、埼玉県を紹介する動作が含まれています。練習の際は、歌詞とともに動作の意味も伝え、日本と埼玉県を知ってもらうことに努めました。

参加した 13 名の青少年は、当日のびのびと演技を披露してくれました。踊りが好きになった子は、今でも暇を見つけては踊り、友達にも紹介して埼玉県を広めてくれています。

※「さいさい盆踊り」については、彩の国さいたま芸術劇場様の動画をご参照ください。

<https://youtu.be/e0z-DZ-rKqs?si=uSOgNQZr12MDDMv0>



(左：習字体験 右：漫画作製体験の様子)

当日は 2,000 人以上の入場者で賑わい、一時ステージには入場制限も設けられるほど盛況でした。多くの参加者はステージの演目だけでなく、着物の着付けやけん玉、ヨーヨーすくいなど、珍しい日本文化を体験できたことを喜んでいました。